

未来農林事業開発研究会の概要紹介と入会案内

1. 研究会の設立の趣旨と目的

「2050年に世界の人口は90億となり、水と食糧不足が懸念されています。一方、日本の農業実態は、「世界的競争力がなく、自給率の低迷(カロリーで40%前後)が長い間続いており、加えて、農業者所得が低く、若者に魅力がないため農業従事者減少している」と将来にリスクを抱えています。そのリスク対応として、2009年4月に元通産省所管(社)日本工業技術振興協会(JTTAS)の事業として本研究会をスタートしました。

その目的は、JTTASのミッションである「幅広い会員(科学者・技術者・事業経験者・経営者等)が主体となり、産学官連携により技術・商品開発から新規事業設立を支援する」に則り、「一次産業(農林業)の技術(農学・生物学・バイオ)」と「二次産業(ものづくり産業)の技術(機械、電気、自動化、情報通信、経営工学、等)」と「三次産業(販売・観光・物流等)の技術」を組み合わせることで、イノベーション(革新的新技術・新ビジネスの創造)を起こし、「世界の食糧不足と日本の農林業を魅力ある産業にする」ことです。しかし、活動の場であるJTTASが行政改革(省庁所管の社団法人廃止)に伴い2014年11月に解消しました。そこで、2015年10月に新たに設立した(一社)日本シニア起業支援機構(J-SCORE)(*1)の登録グループの研究会として2016年10月から新しい体制で再スタートをしました。(1*):(一社)日本シニア起業支援機構(J-SCORE)の詳細はホームページをご覧ください

2. 運営方針

本研究会は様々な分野の人で構成され、従来にない発想で新しい技術・事業の創出を目指しています。

即ち、「一次産業・二次産業・三次産業の統合」、「医学・工学・農学の融合」、「基礎研究、応用研究、開発の連携」で推進します。具体的には、テーマ毎に研究プロジェクト(RP: Research Project)を定め、RPリーダーの下に、基礎研究から応用研究、開発、事業化までを一貫して推進します。なお、シーズ志向よりもニーズ志向を重視し、民間企業および公的研究機関(国立研究開発法人、大学等)の研究成果を実際に農業・食品事業として実現することを第一義としています。

3. 会員種別と会費とメリット

会員としては、法人会員、個人会員、学生会員の3種類があり、年会費および会員メリットは下記の通りです。

会員種別	摘要	年会費 (円/ひとくち・年)	会員のメリット
法人会員	企業名で登録	6000円	◆J-SCOREの行事に優待で参加できる。 ◆研究会行事に特別優待で参加できる。 ◆ホームページから講演会資料がダウンロードできる。
個人会員	個人名で登録	3000円	
学生会員	個人名で登録	1000円	

<注記1> J-SCORE 会員(正会員、賛助会員)および顧問は特別会員として無料で入会できます。

<注記2> 会員の有効期間は10月1日~翌年9月30日の一年間です。

<注記3> 法人会員は一口で2名が同時に会員待遇で参加できます。

<注記4> 会費は下記の指定銀行へ振込をお願いします。

ゆうちょ銀行	記号 10170	普通 72311021	一般社団法人 日本シニア起業支援機構 シャ)ニホンシニアキギョウシエンキコウ
三菱東京UFJ銀行 (0005)	麹町 (616)	普通 0226573	一般社団法人 日本シニア起業支援機構 イッパンシヤダンホウジンニホンシニアキギョウシエンキコウ

4. 入会申込方法について

申込手続きは、下記の事項を明記の上メールで事務局に申し込み下さい。

【記述事項】: ①氏名 ②所属・役職 ③連絡先住所 ④電話番号 ⑤Mail アドレス ⑥会員種別と口数、
⑦会費金額 ⑧ご意見

【事務局】: E-mail<office@j-score.or.jp>

未来農林事業開発研究会

会長 松井 武久

携帯電話: 090-7008-6065